



さんびょう 三錨Ⅶ

本気に 元気に 根気よく

四日市市立富洲原小学校
学校だより

No. 24

平成 31 年 2 月 8 日



今日で、インフルエンザによる学級閉鎖もなくなり、また全学級の児童がそろいました。全校の欠席者数も一桁台となり、とりあえずひと段落です。暦の上では立春を過ぎましたが、この週末はまた厳しい寒さとなる予報。寒暖の差が激しい時期ですので、引き続き健康管理には十分気をつけたいです。

◇うれしいお手紙

先日、校長宛てに匿名のお手紙が届きました。ちょっとドキドキしながら読ませていただくと、とてもうれしい内容でした。せっかくの温かいお気持ちですので、皆様にも是非お伝えさせていただきます。

先日、車で国道 1 号線から八風街道へ信号交差点を曲がろうとしましたら、小学生の児童さんが、青信号の横断歩道を渡ろうとしてらしたので、止まって児童さんが横断されるのを待っていました。すると、その児童さんは、横断歩道を手を挙げて渡り、渡り終えてから振り返り、私に向かって頭を下げてくださいました。なんと礼儀正しい児童さんだろうと思い、私はとても嬉しい気持ちになりました。

家に帰ってから、高 2 になった子どもにその話をしましたら、「是非小学校にその話を伝えてあげて。」と言われました。私の子どもの後輩にあたる児童さんたちが、すばらしいマナーを身につけて成長してくれている姿に感動し、これから中学高校へと本気に元気に根気よく進んで行かれることを願って、感謝を伝えたいと思います。

このようなことは、富洲原小学校の先生方のご指導の賜物だと思います。これからも、人々を喜ばせる児童さんたちのご指導をよろしくお願い致します。

もし、機会がございましたら、是非児童さんたちをほめてあげて下さい。

このお手紙は、早速 2 月 9 日の学校集会で、全校児童に紹介させていただきました。

◇防災学習

1 月 19 日の土曜授業の 2・3 限目、講堂にて 4 年生の「防災学習」が行われました。毎年恒例となっていますが、今年も富洲原地区自主防災隊と消防団の方に、たくさんお越しいただきました。まずは、アルファ米の炊き出し。アルファ米の入った入れ物の中に、沸かしたお湯を入れ、ふたをして 15 分待つと、ほかほかのおいしいご飯が炊きあがります。そこへ具材を入れて混ぜると、あっという間においしい混ぜご飯ができあがりました。

続いて、クラスごとにローテーションしながら、3 つの体験を行いました。①毛布担架作り、②簡易トイレ体験、③ロープワーク（もやい結び体験）です。それぞれ、ていねいに説明や実演をしていただいたので、とても分かりやすかったです。こうやって、小さい頃から体験を重ねていくと、いざというとき役に立つと思います。最後に、アルファ米の混ぜご飯、非常食のクラッカー、そしてお茶のお土産までいただきました。楽しみながらためになる防災学習となりました。関係の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

アルファ米炊き出し



毛布担架



◇なわとび集会

1 月 29 日（火）の 2 限目、運動場にて全校「なわとび集会」がありました。当日は、この時季の寒さながら、気持ちのいい好天に恵まれました。冬場の体力づくりの一環として、1 月 11 日から取り組んできた、「なわとび月間」の総まとめの活動。各学級で取り組んできた、8 の字跳びの練習の成果を発揮する場です。児童会役員の進行

で始まりました。まずは、各クラスで練習。その後、8の字跳びを2分間で何回跳べるか2回の記録をとりました。児童会の代表が結果を発表。どのクラスも、最初のころに比べて記録がぐっと伸びていました。最後に、きょうだい学級でいろいろな跳び方を楽しむ時間もとりました。

大縄は、個々の体力づくりとともに、みんなで気持ちを一つにすることから、学級づくりにも役立ちます。なわとび月間は今日までですが、これを機会に、今後も大縄、短縄に親しんでほしいと思います。



◇読書週間

1月28日（月）から2月1日（金）までは、3学期の読書週間で、期間中様々な取り組みが行われました。

- ①朝の読書（ベーシックタイムに、教室で用意した本を読みました）
- ②図書ボランティアさんによる読み聞かせ（今回は、5・6年生対象でした）
- ③図書館司書さんによる読み聞かせ（1月28日の20分休み低学年図書室にて）
- ④図書委員による読み聞かせ（1月30日のベーシックタイムに1～3年生教室にて）
- ⑤ふれあい読書（ご家族と一緒に本を読み、読んだらカードに書いていきました）

ふれあい読書では、お子さんに本を読んであげたり、お子さんが本を読んでくれたりと、本に親しむ良い機会になったご家庭もあったようです。本は、「知識の泉・心の栄養」とも言われます。読み取る力は、どの学習の基礎にもなります。これを機会に、本に親しむ子が増えるとうれしいです。



◇学校集会

2月6日（水）5限目、体育館で学校集会がありました。まずは、表彰式。三泗小中学校書写展と美術展入選者の表彰がありました。1年生から6年生までたくさんの児童の名前が呼ばれ、代表として二人の6年生児童に賞状を渡しました。作品は今、中校舎昇降口付近に展示してあります。

続いて、なかよし学級児童の発表。9日の土曜日、毎年恒例の三泗特別支援学級学習発表会が、四日市文化会館で行われる予定です。本校なかよし学級9名の児童も、第1部に参加します。そこで発表する「とみすはらマジック」を、全校児童にも発表してもらいました。軽快な音楽に乗ってダンスをしながら、交代で次々にマジックを披露していきます。うまくいくと、みんなから「おー。」という驚きの声や拍手がわき上がりました。本番はもっと大きなステージで、スポットライトを浴びての演技となりますが、よいリハーサルになったと思います。本番を楽しみにしています。

最後に、人権作文の発表がありました。6年生1組と2組の代表2名が、みんなの前で自分の書いた作文を読んでくれました。一人目は「言葉のつかい方」という題名で、普段何気なく使っている言葉の中にも、よく考えると差別的に感じるような言葉もあるという内容。二人目は「十人十色」という題名で、人は違って当たり前、人それぞれの個性や価値観を認め合おうという内容でした。全校の前で、自分の言葉で思いを伝えた二人は本当に立派でした。また、真剣な表情で、その思いをしっかりと受け止めた全校のみんなも立派でした。児童会より「いじめゼロ運動」など、子どもたちの中から人権感覚のあふれる学校をつくっていかうという気持ちが伝わってきて、とても頼もしく思いました。

最後の校長の話の中で、冒頭でお知らせした、「うれしいお手紙」を全校児童に読んであげました。寒い中でしたが、なんだか心がほっこりと温くなる学校集会でした。

